

■真駒内公園小学校の実践

(1) 研究内容

「自分」を大切にし、「ひと」を思いやることのできる子どもの育成
～自尊感情を高めることを軸とした人権学習の授業づくり～

(2) 学習活動を通して育てたい力

- ・命の尊さを理解し、自分の命も、他者の命も大切に感じることができる心情
- ・十分な対人関係能力と、相手を尊重する実践的態度

(3) 実践の内容

【実践①】2年生「はっけん なかよし まちたんけん」(生活、国語、道徳)

○ねらい

- ・まちの人と積極的に関わることを通して調べ、分かったことを相手に分かりやすく表現したり、伝えたりすることができる。
- ・自分たちのまちの好きなところを見付けたり、まちの人と適切に接して親しくなったりすることができるようになった自分に気付く。

○学習内容

- ・まちたんけんを通して地域の施設やそこで働く人とふれあい、分かったことを友達に伝える。
- ・関わったまちの人に感謝の気持ちを伝えたり、紹介文を書いたりする。

【実践②】6年生「はばたけ、未来へ！」(総合的な学習の時間、道徳、国語)

○ねらい

- ・自分の将来について夢や希望をもつと同時に、現在の生活を大切にする気持ちを育てる。
- ・将来への思いについて話の構成を工夫しながら、場に応じた話し方で話すことができる。

○学習内容

- ・憧れの職業に就いている大人について調べたり、勉強をする意義などについて考えたりすることを通して、今の自分を見つめる。
- ・地域で生き生きと働く大人の話の聞いたり、今の生活が将来どのように役立つ

つのかを考えたりする活動を通して将来に目を向け、自分の思いや夢を発表し合う。

(4) 成果と課題

① 成果

- ・開校2年目の今年度は、昨年度の実践から見えた成果と課題を元に学習内容を再構成しながら引き継ぎつつ実践を重ねてきた。保護者、町内会関係者、校区内の商店や飲食店、NPO「水辺の楽校」、子育てサロン、保健センター、大通高校国際クラス、札幌市豊平川さけ科学館など、地域の協力を得ながら「継続的な活動」として定着してきている。
- ・地域を学習の場とし、保護者や地域の方々など、様々なゲストティーチャーとのふれあいを通して、児童は学級や学年の友達同士だけでなく、様々な立場の人との共有体験を重ね、自尊感情が向上していると考えられる。
- ・3年生以上の人権の学習で軸になっているのが総合的な学習の時間であるが、その年間指導計画が学年間の系統性を意識したものになってきた。
- ・今年度は助言者や授業協力者の先生方をお招きし、授業を見ていただき、ご指導を賜った。その結果、本校が目指すべき人権教育の方向性が見えてきた。

② 課題

- ・なぜ本校が人権教育に取り組んでいるのか、「真駒内公園小学校の人権教育」とは何なのか、今後職員の入れ替わりがあったとしても、全職員が認識を共有しながら進めていくために、学習のねらいをさらに吟味していく必要がある。
- ・各教科・領域のねらいと本校が目指す人権教育のねらいを整理し、より効果的に達成するために、各教科・領域の特性を生かした横断的な単元構成を再構成していく必要がある。

